



進路だより

”高きを仰ぎ 最善を尽くす”

令和5年 6月 5日発行

第3号

前橋工業高校 進路指導部

1 先輩と語る会について

令和5年6月2日（金）5，6校時に実施しました。進学した卒業生12名、就職した卒業生20名、今年度の教育実習生4名を含め、計36名が来校しました。

3年生対象で行われ、5校時は、進学希望者と就職希望者に分かれ全体会を行い、6校時は、卒業生が在籍していた学科の教室に出向き、後輩へ進路アドバイスをを行いました。その様子は下記のとおりです。

先輩から実際の様子が聞けるため、進路選択などの情報収集につとめていました。

記



【進学希望者全体会】



【就職希望者全体会】



【各教室での進路懇談会】

2 進路関係 ”就職のしかた” について



- (1) 進路のしおりに載せていますが、下記は進路指導部から各学年の進路目標です。なんと
言っても「自己理解」が基本になり大切です。

記

1学年	自己理解	〇基本的生活習慣の確立と自己理解
2学年	自己啓発	〇進路決定に向けた情報収集と将来を考えた学習活動
3学年	自己実現	〇主体的に進路活動を行い納得できる進路実現

- (2) 自己理解と言うのは、自分自身がどんな人間なのかを探ります。3年生の目標でもある自分が納得のいく就職をするためには、**自己理解が第一歩でスタート地点**です。興味や関心のある仕事、自分に合うと思える仕事なのか、その仕事を希望した理由が思い込みではないかを見極めることも大切です。
- (3) まずは、自分自身の興味や関心・性格や適性・長所（得意）などを考える。その上で2年生の目標である**情報収集**を行う。具体的な企業名をあげることも大変なことです。だからと言って「ネームバリューのある会社」、実際は知らないけど良さそうなイメージで選んだだけの職種では見誤ることもあります。
- (4) 自分自身の仕事を探すためには、**①自分がやりたいこと、②自分ができること、③自分が挑戦したいこと、④自分がすべきだと考えること**の自己分析を行い、候補を決める。求人票や会社案内やWebページなどで調べたり、先輩方の報告書を参考に。保護者や担任の先生、進路指導部の先生は、社会人としても先輩でもある。アドバイスなどをもらうように心がけよう。
- (5) 最後に、近年は地元志向が多い就職活動です。自宅からの通勤距離、休日、仕事内容、賃金、実際に先輩が務めている会社なども総合的に考えながら、**自分のための納得できる就職先**を探そう。